

# 高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の

していぶんかざいしせき

指定文化財(史跡)

ちょうげんじあと

## 重玄寺跡

新高総早倉矢  
見梁社島敷掛  
市市市町市町

井原市

浅里笠  
口庄岡  
市町市



場所

いばらしよし いちようてんじんやま  
・井原市芳井町天神山



時代

むろまち だい  
・室町時代



指定年月日

・平成17(2005)年  
3月16日



所有

ちょうげんじ  
・重玄寺



### この史跡について

かぎつがん ねん こんりゅう りんざいしゅうぶつ とうじ は じいん かいざん このえけ せんみょうしゅうちく  
嘉吉元(1441)年に建立された臨済宗仏通寺派の寺院で、開山に近衛家ゆかりの千畝周竹を  
招きました。そのため現在も近衛家ゆかりの宝物が伝えられています。

せんみょうしゅうちく おしょう がせいせつしゅう しんこう ちょうげんじ せつしゅう しゅうえん ぼしょ つた  
また、千畝(周竹)和尚は、画聖雪舟と親交があり、そのため重玄寺は雪舟の終焉の場所と伝え  
られ、多くの文献にその記載があります。(『東福寺誌』、『吉備物語』、『古画備考』、『備中集成志』、  
『也足外集』等)

そうけんご なんと かさい あ てんしやうねんかん しょうしつ さい とよとみひでよし ほうじやう き  
創建後、何度か火災に遭い、天正年間(1573 ~ 1592)に焼失した際には豊臣秀吉が方丈を寄  
進したと言われていたますが、昭和30(1955)年鐘楼門と土蔵を残して再び全焼し、現在の重玄寺  
は井原市芳井町吉井篠原にあります。

